

市民セミナリヨ

～紙芝居で見る長崎原爆～

2020年10月、核兵器禁止条約の批准国が50カ国に達しました。
いま、改めて被爆者の証言に耳を傾け、「核兵器のない世界」に向けての一步を共に踏み出してみませんか。



会場 / 浦上キリシタン資料館

2020 12/6 (日)
13:30～14:30

「私を平和の道具としてください」
片岡ツヨさんの証言
「生きていてよかった」



450年にわたる長崎とローマとのつながり、教皇と被爆地・長崎がどんな平和メッセージを共有してきたかを、紙芝居でお話しします。

「ローマ教皇と
長崎と
核廃絶」

二本立て

語り手 西岡 由香 (にしおか ゆか)

漫画家。1999年「ピースポート」地球一周の旅をきっかけに平和活動を開始。2008年、長崎原爆をテーマとした『夏の残像 ナガサキの八月九日』を発表。2015年、「被爆マリアの祈り—漫画で読む三人の被爆証言」で平和・協同ジャーナリスト基金賞特別賞を受賞。著書「愛のひとド・ロ神父の生涯」、「愛のまち 漫画で読む長崎キリシタン史」、絵本「パパ様と長崎」(長崎文献社)など。

●主催:  アジェンダNOVAながさき
<http://www.feature.jp/agenda/>

●申し込み: 浦上キリシタン資料館(長崎市平和町11-19)
(電話/FAX 095-807-5646・メール urakam1cm@mxa.cncm.ne.jp) 宛に氏名・連絡先をご連絡ください。

●問い合わせ: 林田 (090-7923-7435) (新型コロナウイルス対策のため、入場時に検温させていただきます)

参加費 500円 高校生以下無料
【定員 20名(先着順)】